JAPAN INDIACA ASSOCIATION

LET'S PLAY Indiaca

32 2009.10

www.japan-indiaca.com

〒101-0061
東京都千代田区三崎町２－20－７
水道橋西口会館内
TEL.03-3512-2801
FAX.03-3512-2802
E-mail：JIA@japan-indiaca.com

Japan Indiaca Association ● ㈳日本インディアカ協会

「'09 Japan Friendship Indiaca League Match」開かれる

「第15回ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグ マッチ」は、７月５日に「東京体育館」で開催されました。今年は、予定チームを上回る参加希望があり抽選をさせていただきました。また、隣接の国立競技場で、石原裕次郎23回忌法要も開催され、参加チームへの影響が予想される中での開催でした。

この大会は、交流・親睦を目的に参加128チームを、各クラス８つのグループに分け、同じカラーのＴシャツのユニフォームで競技を行い、対戦毎の集計をして優勝グループを決定する方式で創り上げていく大会です。また、各コートでの優秀チームにも特別賞が贈られ満足感のある楽しい試合進行になっています。

今回も、インターネットライブ中継を行いましたが、視聴者から「お母さんが、参加しているので映してください」とのメールもあり、より多くのチームを紹介するために撮影者は会場内を動き回りました。

また、今回は、参加チームから感想・コメントや川柳を出していただき、感動した12作品について閉会式で表彰しました。

今年の結果は、「ホワイト」グループが優勝、準優勝は「ロイヤルブルー」グループが獲得しました。各チームのポイントは以下のとおりです。

【優　勝】	ホワイト	236ポイント
【準優勝】	ロイヤルブルー	228ポイント
【第３位】	ライム	226ポイント
【第４位】	サックス	224ポイント
【第５位】	オレンジ	218ポイント
【第６位】	レッド	214ポイント
【第７位】	ライトピンク	212ポイント
【第８位】	ライトイエロー	202ポイント

特別賞（各コート全勝チーム）
- ３コート：びたみん（埼玉県）
- ５コート：ヤマチャンズ（福島県）
- ６コート：ライム（愛知県）
- ９コート：TERAZU（テラズ）S（愛知県）
- 11コート：白河レッドウイングス（福島県）
- 12コート：TERAZU（愛知県）
- 13コート：ホトニクスレッド（静岡県）
- 15コート：びたみん（埼玉県）
- 16コート：アルファ（小櫃のびのび）（千葉県）

優勝チーム（ホワイトグループ）
- 【一般女子】ファースト桜（千葉県）、メイビー（埼玉県）、スマイルズ（埼玉県）、フェニックス宙（千葉県）
- 【一般男子】ファルコン（埼玉県）
- 【一般混合】ぴんきーｈｅａｒｔ（茨城県）、ホトニクスレッド（静岡県）、ＡＳＣ（新潟県）、ファミリー（栃木県）
- 【シニア女子】ライム（愛知県）、つばさＭＩＹＡ（栃木県）、なごみ（東京都）
- 【シニア混合】キャッツ（埼玉県）、・岐阜ティエスシー（岐阜県）、総和フレンズ（茨城県）
- 【スーパーシニア混合】アルファ（小櫃のびのび）（千葉県）

「第５回全日本インディアカトーナメント」開催

沖縄県からブロック代表５チーム出場

７月４日に、東京体育館において「第５回全日本インディアカトーナメント」が開催されました。この大会は、全国各ブロック（北海道・東北、関東甲信越、北陸・東海、関西、中・四国、九州・沖縄の６ブロック）から勝ち抜いてきたチームにより、日本チャンピオンを決めると共に、来る2010年にスイスで開催される「3rd Indiaca World Cup」の日本代表としての出場権が得られます。

今年も、インターネットライブにより全国のインディアカ愛好者に生中継され、多くの方からのアクセスをいただき、熱戦を一緒に応援することが出来ました。

この大会のトップを目指し、地元テレビから年間を通じて応援をいただいた男子の部の「CARNATION（九州・沖縄ブロック代表）」は、昨年より一つ順位を上げ２位となりました。来年こそは優勝という期待が寄せられています。

また、シニア混合の部では、第１回優勝の「ファースト（関東甲信越ブロック代表）」が、第３回大会から一つずつ順位を上げ今回優勝に返り咲きました。

今回も、各ブロック代表として、日頃の練習の成果を発揮し、すばらしい技術とチームワークを随所に見せていただき、見ている方々にも興奮と勇気が伝わってくることを実感できる大会でした。惜しくも決勝トーナメントに進めなかったチームについては、来年を目指し練習に頑張ってください。

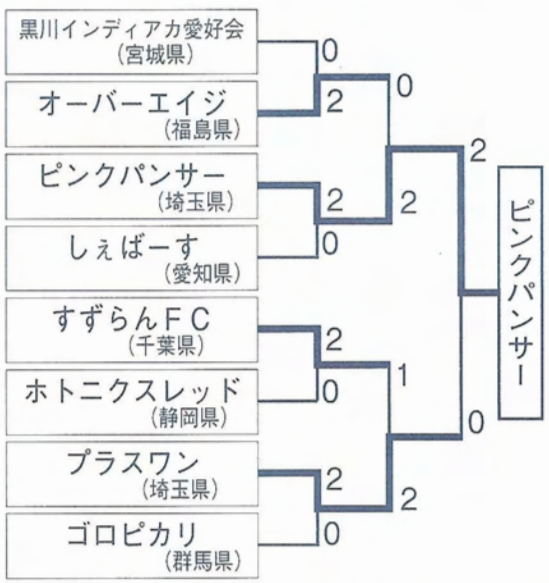
＜　結果一覧　＞

	一般女子の部	一般男子の部	一般混合の部	シニア混合の部	シニア女子の部
優　勝	将軍 （静岡県）	わいわいクラブ （愛知県）	ピンクパンサー （埼玉県）	ファースト （千葉県）	アルファ （千葉県）
準優勝	COLOR （愛知県）	CARNATION （沖縄県）	プラスワン （埼玉県）	WINGS　GOLD （栃木県）	ARPC （愛知県）
第３位	羽根気打（ｼｬﾄｷﾁ） （愛知県） 飛翔 （愛知県）	H（ｱｯｼｭ） （愛知県） HFM （千葉県）	オーバーエイジ （福島県） すずらんFC （千葉県）	とんぼ （埼玉県）	スバル YS （埼玉県）

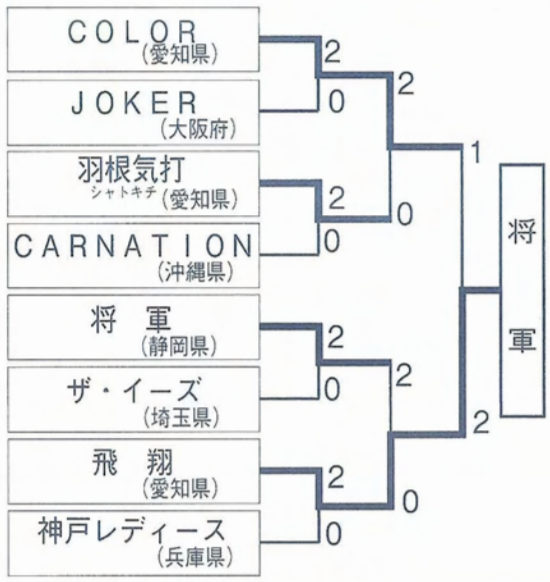
ピンクパンサー

将軍

決勝トーナメント【一般混合の部】

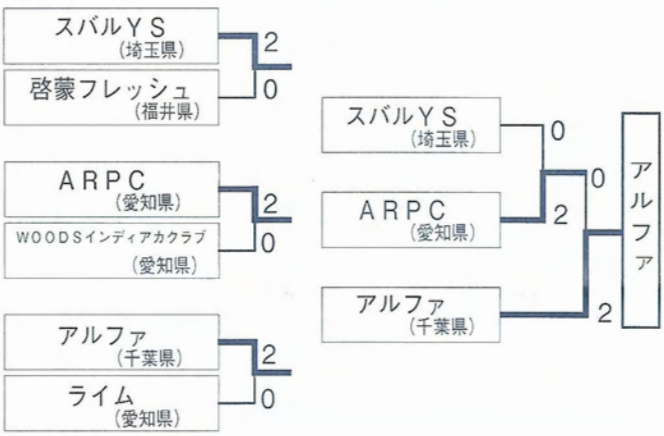


決勝トーナメント【一般女子の部】



決勝トーナメント【シニア女子の部】

＊第１試合（準々決勝）終了後の組み合わせは、抽選



アルファ

決勝トーナメント【シニア混合の部】

＊第１試合（準々決勝）終了後の組み合わせは、抽選

ファースト

決勝トーナメント【一般男子の部】

わいわいクラブ

フレンドシップ大会の一言コメント・川柳は、応募総数 50 の中から、感動的な 12 編が表彰されました。

一言コメント・川柳　優秀賞

女房より　あつかいやすい　赤い羽根（恐妻家の夫）　東京都　ジャンプかわせみ　（スーパーシニア混合の部）

仕事より　２倍はたらく　インディアカ　千葉県　ダッシュの会　（シニア混合の部）

カレーの日　ママは決まって　インディアカ　埼玉県　アクセル　（女子の部）

タッチネット　触れているのは　メタボ腹　埼玉県　ハッピーハンド　（シニア混合の部）

勝負は　関係ないと　鬼の顔　埼玉県　リバティ　（シニア女子の部）

八色の紫陽花　花咲くフレンドシップ　埼玉県　スマイルズ　（女子の部）

ユニフォーム　ちくびがすれて　負け試合　埼玉県　びたみん　（一般混合の部）

おいしそう　コートにはじける　マーブルチョコ　千葉県　フェニックス宙　（女子の部）

太陽に　吠えずに私は　インディアカ　埼玉県　ひばり　（女子の部）

かんれきを　すぎてもできるインディアカ　栃木県　Ｙ３Ｗｉｚ　（スーパーシニア混合の部）

としをわすれてむがむちゅう

続けてて　やっぱり良かったインディアカ　茨城県　霞ケ浦マロンズ　（一般混合の部）

今年もふれあう　こころとこころ

インディアカ　楽しくやれば　い～んでぃあか　福島県　昇龍　（一般混合の部）

2009 Japan friendship Indiaca League Match　2009.07.05 東京体育館

2009年度事業計画

【組織の整備・強化】

＜各ブロック競技会との連携、協力＞

・各ブロックで開催される会議については、本協会理事であるブロック代表理事が中心となって、情報交換を密にし相互の連携を図らなければならない。地域協会の育成・援助の方策を検討し活発化を図る。

＜個人会員・公認審判員の拡大＞

・現在、全国レベルおよびブロックの大会は、スポレク祭を除いてすべて日本協会の個人会員もしくは公認審判員でなければ参加できないシステムになっている。会員・審判員のメリットとして大会に参加できるということをアピールする。都道府県レベルの大会もこれに準じるよう働きかける。
・都道府県レベルの大会は、帯同審判制を採用し、資格の活用と拡大を図る。
・ブロック、全国レベルの交流大会も、主審以外は帯同審判員によって競技運営するよう試みる。会員数や、公認審判員数の関係で大会が開催できない府県にあっては、参加費に差をつけて、会員でない選手も参加を受け付け、入会の機会をつくる。
・各都道府県協会が年間50名の「公認C級審判員」の養成を目標に掲げ、その達成に努力する。

【理事会・総会の開催】 ※開催期日及び会場は未定

・2009年度第1回理事会（2009年5月）
・2009年度第1回総会（2009年5月）
・2009年度第2回理事会（2010年3月）
・2009年度第2回総会（2010年3月）

【専門委員会の開催】

[総務委員会] ※年2回以上開催

・日本インディアカ協会の方策、方針の構築
・組織育成強化3カ年計画に関すること
・理事会に関すること
・日本協会事務局運営の充実、発展に関すること
・各専門委員会の調整

[組織委員会] ※年4回開催

・個人会員、公認審判員拡大方策をつくりそれの推進に当たる。
・「公認C級審判員」認定の都道府県協会委譲を推進。
・都道府県インディアカ協会の育成強化。
・区市町村インディアカ協会の育成強化。
・都道府県協会基本調査の実施。
・公認審判員の資格審査を行い、「公認C級審判員」及び「公認B級審判員」、「公認A級審判員」の認定を行う。
・「公認指導者制度」を構築する。

[指導・技術委員会] ※年4回開催

・指導技術の研究（指導法）の確立。
・基礎技術、応用技術の研究。
・審判技術の研究（審判法の確立）。
・競技運営法の確立。
・「公認A級審判員認定講習会」、「公認B級審判員認定講習会」、「公認A級審判員研修会」、「公認B級審判員研修会」、「公認インディアカ指導者移行講習会」の企画、運営。
・公認審判員制度の周知。
・公認審判員認定筆記試験問題の作成及び実技試験要領の作成。
・競技規則の改定。
・国際審判員の推薦。

[事業委員会] ※年4回開催

・全国レベルの大会の企画立案。
・「2009ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ」（東京体育館）
・「第5回 全日本インディアカトーナメント」（東京体育館）
・用具の公認と公認審査会の開催。
・「インディアカ教本」並びに「インディアカ競技規則2009年度版」の刊行。
・ジュニア世代へのアプローチ。
・新事業の開発。

[広報委員会] ※年4回開催

・広報、ホームページに関すること。
・インディアカ情報の発信。
・機関紙「Let's Play Indiaca」の編集。
・調査研究に関する事項。
・国際大会、イベントに関すること。
・「インディアカ」のデモンストレーションDVD制作の検討。

【新公益法人移行推進委員会の設置】

法律の改正により、現在の社団法人並びに財団法人は、「公益社団法人」と「一般社団法人」の二つに振り分けられることになった。わが協会も2009年度中にはどちらを選択するか結論を出さなければならない。そこで、内外を問わず有識者による標記委員会を早急に設置し、検討と対策等の準備をスタートさせる。

【協会設立30周年記念事業委員会の設置】

本協会は、2010年に設立30年を迎える。30年を振り返ると共に、今後のますますの発展を祈念し、会員並びに組織の一人一人の心に響くような意義のある記念行事を行いたい。

【競技会の開催】

[各種全国大会]

● 『第15回（2009）ジャパン フレンドシップ インディアカリーグ マッチ』
・2009年7月5日（日）東京体育館 128チーム（700名）
（社）日本インディアカ協会の個人会員、公認審判員を対象にして毎年1回開催され、日ごろの練習の成果の発表の場として、会員相互の親睦・交流の場として重要な大会である。

● 『第5回 全日本 インディアカ トーナメント』
・2009年7月4日（土）東京体育館 80チーム（480名）

この大会は、2005年度から新しく開催されたもので、今回が第5回大会となる。市町村大会⇒都道府県大会⇒ブロック大会⇒全日本大会へと組織的に連動した大会である。以後も毎年開催したいと考える。本大会は、2年に一度開催される世界大会の予選を兼ねているもので、大きな高まりを見せている。我が国のインディアカ競技の最高レベルの大会として、「ジャパン　フレンドシップ　インディアカ　リーグ マッチ」と対角に位置する大会である。

● 『第32回全国インディアカ大会』
・2009年9月20日（日）　長崎県長崎市「長崎市民体育館」
「第63回全国レクリエーション大会」の中で開催される。

● 『第22回全国スポーツ・レクリエーション祭』
・2009年10月17日（土）～10月20日（火）　宮崎県宮崎市「宮崎市総合体育館」

[ブロック大会]

● 『第25回北海道・東北ブロックインディアカ大会』
・2009年9月6日(日)　岩手県盛岡市「岩手県営体育館」

● 『関東甲信越ブロックインディアカ大会』
・2009年11月15日（日）　栃木県鹿沼市「鹿沼総合体育館　フォレストアリーナ」

● 『東海・北陸ブロックインディアカ大会』
・2009年10月4日（日）
富山県南砺市「南砺市福野体育館」

● 『中・四国ブロックインディアカ大会』
・2009年7月5日（日）
鳥取県米子市「県立米子産業体育館」

● 『九州・沖縄ブロックインディアカ大会』
・2009年4月19日（日）　鹿児島県薩摩川内市「薩摩川内市総合体育館　サンアリーナせんだい」

● 『関西ブロックインディアカ大会』
・2009年11月1日（日）
京都府木津川市「木津川市中央体育館」

【公認審判員の養成】

〈新規会員登録〉　1,200名

[公認C級審判員の養成と認定]

〈公認C級審判員認定講習会の開催〉
30回　900名　　全国各地

〈公認C級審判員認定・登録〉　900名

[公認B級審判員の養成と認定]

〈公認B級審判員認定講習会の開催〉
2回　50名　　全国各地

〈公認B級審判員認定・登録〉　50名

[公認A級審判員の養成と認定]

〈公認A級審判員認定講習会〉　30名
・2009年7月3日（金）～7月4日（土）

〈公認A級審判員認定・登録〉　30名

[公認インディアカ指導者の養成と認定]

〈公認インディアカ指導者移行講習会〉
東日本地区　30名　　西日本地区　30名

[登録更新]

〈個人会員〉　950名
〈公認C級審判員〉　1,500名
〈公認B級審判員〉　50名
〈公認A級審判員〉　50名

[公認A級審判員研修会・公認B級審判員研修会]

公認A級並びにB級審判員が3年に1回、最寄の開催地に集合し、指導法・審判法・競技運営法・安全管理等の実践研究を行う。また、ルールの共通理解や大会運営について学習する機会として開催している。

〈公認A級審判員研修会〉
・『東日本会場』　2010年2月（茨城県）
・『西日本会場』　2010年2月（愛知県）

〈公認B級審判員研修会〉
・『関東甲信越地区会場』　2010年2月（茨城県）
・『東海・北陸地区研修会』　2010年2月（愛知県）

【国際交流事業】

＜ International Indiaca Association ＞

・定例理事会
期間：2009年8月2日（日）～3日（月）
場所：エストニア／ノーオ

・国際大会
〈2nd Open Junior World Cup 2009〉
期日：2009年8月4日～8日
会場：エストニア／ノーオ
参加状況：エストニア8チーム　ドイツ8チーム
ポーランド4チーム　スイス5チーム
合計25チーム

国際インディアカ協会による主催事業で、「第2回ジュニアワールドカップ2009」がエストニアで開催される。第1回はドイツで開催されている。実施部門は、－14／15－18の男子、女子、混合の部となっている。ただし、－14の部は混合のみとなっている。我が国はまだジュニアのインディアカチームがないため出場することができない。

【出版物・機関紙等の発行】

・機関紙「Let's Play Indiaca」の発行
17,000部（年1回発行）
・「インディアカ」教本の増刷
・2009年度版「インディアカ競技規則」の刊行
・「ジュニア用インディアカ競技規則」の刊行

【広報活動】

・日本インディアカ協会ホームページの充実
「広報委員会」がこれを担当し、情報が停滞しないよう改善を図るとともに充実させていく。
・機関紙を官公庁、関係団体へ送付する。
・全国大会をはじめとして、各種大会をマスコミ、行政、企業、団体へＰＲ。
・マスコミ取材に対応できる資料の作成・収集、情報の整理を行う。

【用具の検定及び公認】

・すでに公認をしている用具について、契約条件を整備し、公認料の拡大を図る。
・インディアカ関連公認用具の拡大に努める。

2008年度事業報告

【競技会の開催】

[全国大会]

1.「第21回全国スポーツ・レクリエーション祭」
・2008年10月19日（日）～10月20日（月）
・滋賀県大津市「皇子が丘公園体育館」
・46チーム

2.「第4回全日本インディアカトーナメント
・2008年8月3日（日）
・名古屋市「愛知県立体育館」
・60チーム

3.「'08ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ」
・2008年7月6日（日）
・東京都千駄ヶ谷「東京体育館」
・121チーム

4.「第31回全国インディアカ大会」（第62回全国レクリエーション大会）
・2008年9月14日（日）
・岩手県岩手郡滝沢村「滝沢総合公園体育館」
・34チーム

[ブロック大会]

1.「北海道・東北ブロックインディアカ大会」
・2008年6月15日（日）
・福島県喜多方市「押切川公園体育館」
・54チーム

2.「関東甲信越ブロックインディアカ大会」
・2008年11月9日（日）
・群馬県渋川市「渋川市子持社会体育館」
・60チーム

3.「東海・北陸ブロックインディアカ大会」
・2008年10月5日（日）
・福井県大野市「大野市エキサイト広場総合体育施設」
・70チーム

4.「関西ブロックインディアカ大会」
・2008年11月20日（日）
・大阪府堺市「堺市立大浜体育館」
・22チーム

5.「中・四国ブロックインディアカ大会」
・2008年6月8日（日）
・香川県善通寺市「善通寺市民体育館」
・84チーム

6.「九州ブロックインディアカ大会」
・2008年4月13日（日）
・沖縄県浦添市「浦添市民体育館」
・49チーム

【個人会員と公認審判員の養成】

＜個人会員の入会・登録＞
1.「新会員の入会」　1,178名入会登録

＜公認C級審判員の養成と認定＞
1.「公認C級審判員養成講習会」　全国各地　31回開催
2.「公認C級審判員の認定・登録者」　582名登録

＜公認B級・A級審判員の養成と認定＞
1.「公認B級審判員認定講習会」　兵庫県　15名受験
2.「公認B級審判員の認定・登録」　14名登録
3.「公認A級審判員認定講習会」　愛知県　8名受験
4.「公認A級審判員認定・登録」　7名登録

[登録・更新]

1.「個人会員」3,927名更新
2.「公認C級審判員認定・登録」　1,952名更新
3.「公認B級審判員」　120名更新

[公認B級審判員・認定員研修会]

1.「北海道東北・地区研修会」
・2008.11.29～30　宮城県栗原市「エポカ21」20名（認定員12名）

2.「東海・北陸地区研修会」
・2009.2.21～22　愛知県一宮市「一宮勤労福祉会館」14名（認定員15名）

3.「近畿・地区研修会」
・2009.3.14～15　神戸市「ニチイ学館ポートアイランドセンター」9名（新規B級15名）

4.「東北・関東甲信越地区研修会」
・2009.3.7～8　東京都江東区「BumB東京スポーツ文化館」57名（認定員12名）

5.「九州沖縄地区研修会」
・2009.3.21～22　広島県廿日市市「アルカディアビレッジ」33名（認定員25名）

【会　議】

[理事会]

・2008年度第1回理事会　2008.5.31
東京体育館「第3会議室」
・2008年度第2回理事会　2009.3.31
東京体育館「第3会議室」

[総　会]

・2008年度第1回正会員総会　2008.5.31　東京体育館「第3会議室」
・2008年度第2回正会員総会　2009.3.31　東京体育館「第3会議室」

[専門委員会]

1.「総務委員会」2回開催
・理事会の議案検討
・事業計画、収支予算、事業報告、収支決算の検討
・各専門委員会の調整
・その他

2.「組織委員会」3回開催
・「公認C級審判員」の認定権の都道府県協会への委譲
・「公認指導者制度」の構築　（準備・検討）
・「公認審判員」の審査
・その他

3.「指導・技術委員会」4回開催
・「公認審判員規程及び推進要項、要領の整備」
・「認定員研修会の充実」
・実技検定及び学科検定の実施と補修
・公認C級審判員及び公認B級審判員の筆記試験問題の作成
・その他

4.「事業委員会」1回開催
・「4th All Japan Indiaca Tournament」の企画、運営
・「'08 Japan Friendship Indiaca League Match」企画、運営
・その他

5.「広報委員会」1回開催
・広報活動のあり方を検討
・協会事業（全日本トーナメント）のマスコミへの周知
・ホームページの充実
・各委員の役割分担
・Let's Play Indiacaの編集
・その他

【国際交流事業】

＜International Indiaca Association＞
・定例理事会および総会の開催　2008.8.18～19
ルクセンブルク／エッテルブリュック
・第3回インディアカワールドチャンピオンシップス
2008.8.19～23
参加国：5カ国（スイス、エストニア、ドイツ、ルクセンブルク、ポーランド、日本）
会　場：ルクセンブルク／エッテルブリュック　スポーツホール

今回の大会は、初めてルクセンブルクで開催され、上記の国が参加し、日本は初めて全種目（一般／男子、女子、混合　シニア／男子、女子、混合）にエントリーした。

なお、参加6カ国を対象として参加者全員の投票により決定する「フェアプレイ」賞が設置され、日本が栄えある最初の受賞国となった。

第１回日韓親善インディアカ交流大会 in 広島

広島県インディアカ協会　理事長　橋本邦男

昨年７月に広島県において、日韓の「インディアカ公認Ｃ級審判員認定試験」を開催し、韓国より７名の方が来日され、受験されたことが縁となり、去る６月20日（土）に広島県廿日市市スポーツセンターにおいて、韓国より陳先生を団長として選手８名、日本より役員６名、選手48名、通訳の岡山大学准教授の李先生を含め、総勢64名が集まり、日韓インディアカの歴史的友好関係の第一歩を示す本大会が開催されました。

韓国側の大会のメンバーは、昨年Ｃ級審判員を受験されたメンバーとは替わっていましたが、昨年、今年で16名の方が日本において、インディアカをプレーされたことは、大変意義深いと思います。韓国では、陳先生が京畿大学の教授で、教え子、学校関係の人に普及されています。

両国間の言葉の通じないというハンディはありましたが、インディアカの輪の中に入れば身振り手振りで、すぐに仲良くなりました。夜の懇親会でも、カラオケを歌ったり、参加者みんな和気あいあいでした。

次回親善交流大会は11月７日(土)に韓国の京畿大学で開催を予定しております。

フレンドシップ大会への感謝

千葉県　フェニックス宙　澤田弘子

私は昨年人間ドックで乳癌が見つかり２度の手術の後、抗がん剤治療、放射線治療を受け、現在も毎月毎月、再発・転移を早期発見するためのチェックを受けております。昨年の今頃は所属しております「フェニックス」も休会し、とても辛い時間をすごしておりました。

そんな私がこんなに立派な体育館でのこんな大きな大会で仲間と同じ色のＴシャツを着てインディアカができること自体が夢のようで、順番で控えの選手として応援することも楽しくて嬉しくて泣きたくなるほどの幸せでした。

私が所属する「フェニックス」は今年、創立20周年を迎えました。年齢も技術も体力もさまざまな30名が仲良くインディアカを楽しんでいます。私はPTAで知り合ったお友達に誘ってもらってまだ５年目の若輩ですが、「フェニックス」がモットーとする「和」のおかげで、インディアカどころか運動嫌い、スポーツ苦手の私にも関わらず快く受け入れていただいてインディアカをたくさんの仲間と楽しませてもらっています。

フレンドシップに参加してらしたたくさんの皆さんは、それぞれに様々なことを頑張って、あの日、あの場所にいらしていたことと思います。私も、初めて私を仲間の一員として誘ってくれた友達と「フェニックス」に心から感謝しながらあの場にいました。そして、このような楽しく、幸せなひと時をプレゼントしてくださった日本インディアカ協会様には深くお礼申し上げるとともにますますのご発展を祈念しております。

2009年度・2010年度　理事・監事

会　長	吉田　正志	（財）日本レクリエーション協会顧問
副会長	丸山　正	八王子市レクリエーション協会会長
常務理事	押塚登貴夫	元(財)日本レクリエーション協会部長
理　事	井谷　正由	山形県インディアカ協会理事長
理　事	本沢　光一	栃木県インディアカ協会理事長
理　事	金子　良治	滋賀県インディアカ協会会長
理　事	小林　三郎	株式会社　キャッツ　顧問
理　事	小森谷大弐	千葉県インディアカ協会理事長
理　事	塩脇　紀子	船橋市インディアカ協会会長
理　事	瀬戸　章嘉	日本赤十字社大阪支部総務課長
理　事	伊藤　昭治	愛知県インディアカ協会副会長
理　事	野々宮　徹	愛知教育大学教授
理　事	橋本　邦男	広島県インディアカ協会理事長
理　事	山口　松博	長崎県インディアカ協会会長
理　事	飛田　一浩	茨城県インディアカ協会副理事長
理　事	青木　隆	新潟県インディアカ協会理事長
監　査	武石記代子	東京都インディアカ協会副会長
監　査	田口　久男	（有）田口設備サービス代表取締役

2009年度・2010年度　専門委員会

【総務委員会】

委員長	吉田　正志	（社）日本インディアカ協会会長
委　員	丸山　正	組織委員会委員長
委　員	瀬戸　章嘉	指導・技術委員会委員長
委　員	小森谷大弐	事業委員会委員長
委　員	塩脇　紀子	広報委員会委員長
委　員	押塚登貴夫	（社）日本インディアカ協会常務理事

【組織委員会】

委員長	丸山　正	東京都インディアカ協会会長
委　員	高石　邦男	千葉県インディアカ協会理事
委　員	金沢　智幸	埼玉県インディアカ協会
委　員	桑名　賢	茨城県インディアカ協会理事長
委　員	長谷川忠信	神奈川県インディアカ協会会長

【指導・技術委員会】

委員長	瀬戸　章嘉	（社）日本インディアカ協会理事
委　員	宮城　重男	東京都インディアカ協会理事
委　員	坂口　進	埼玉県インディアカ協会
委　員	飛田　一浩	茨城県インディアカ協会事務局長
委　員	中居　伸一	千葉県インディアカ協会

【事業委員会】

委員長	小森谷大弐	千葉県インディアカ協会理事長
委　員	本沢　光一	栃木県インディアカ協会理事長
委　員	山崎　憲	東京都インディアカ協会
委　員	高橋　良枝	群馬県インディアカ協会理事長
委　員	伊藤　昭治	愛知県インディアカ協会事務局長

【広報委員会】

委員長	塩脇　紀子	船橋市インディアカ協会会長
委　員	山崎　憲	東京都インディアカ協会
委　員	大庭　定浩	東京都インディアカ協会
委　員	高石　邦男	千葉県インディアカ協会理事

《インディアカのルール　Q＆A》

今回の“インディアカルールQ＆A”はサービスに関連したものを取り上げてみました。

〈Q－1〉「サービスの際、サーバーの足の靴先が浮いた体制（横から見ると靴先はエンドラインに触れていない）でエンドラインにかかっている。フットフォールトでしょうか？」

【 A 】 競技規則に明示されている「エンドライン後方のサービスエリア内に両足が置かれた姿勢から」は、床面（エンドライン）に接地していない空中であっても足がサービスエリアを越えることは許されません。靴先がエンドラインの空中にあることはフットフォールトの反則です。

〈Q－2〉「AチームからBチームにサービスが移行したところでAチームのサーバーの誤りが発覚した。このとき誤ったサーバーのプレーは無効とし、Bチームの１点を取り消し、Aチームの誤ったサーバーの得た得点を引き、Bチームにサーバー誤りによる１点を入れ、スタートしたがその処置でよかったのでしょうか？」

【 A 】 まず、Bチームの得点でラリーが終了し結果が出ている場合は、サービス移行の段階でAチームのサーバー誤りが発覚してもBチームの１点取り消しはありません。

処置は、サーバー間違いが発覚した時点で、Aチームのサーバー誤りによる１点がBチームに加算され、当該プレーヤーを正しい位置に付かせます。当該サーバーが連続してサービスを行使していた間の得点は失われます。

〈Q－3〉「両チームの得点数が少ない段階での試合で、エントリーされていない選手番号の競技者がサービスをしました。競技者数が４名ということであきらかに主将の記載ミスですが、副審のチェックミスということで最初からやり直しという処置が取られました。正しい処置でしょうか？」

【 A 】 原則としてエントリーはチームの責任においてなされる参加行為です。その行為で大会（競技会）が成立します。

よって、エントリーされていない競技者がゲームに出場することは大会が成り立たないことになります。このようにならないためにエントリーは厳格に取り扱わなければなりません。

この質問の状況では、チームの責任という意味で不完全チームとなりゲームに参加することは許されません。しかし、エントリーの確認が大会参加受付時に行われていることが条件です。もしコート自己完結型で競技開始前の確認ならば、審判団の確認ミスでやり直しがありえる場合があります。

〈Q－4〉「相手チームからアタックヒットされたインディアカボールが自チームのブロッカーに接触した後、両手でレシーブしたときは、ドリブルの反則になるのでしょうか？」

【 A 】 競技規則に明示されている両手打ちの許容条件は、相手チームから打ち込まれてくる打球に対してです。自チームの競技者に接触した時点でその条件はなくなりますので、ドリブルの反則となります。

＝事務局からのお知らせ＝

6th All Japan Indiaca Tournament & '10 Japan Friendship Indiaca League Match 日程が決まりました。

6th All Japan Indiaca Tournament	2010年6月12日（土）　東京体育館
2010 Japan Friendship Indiaca League Match	2010年6月13日（日）　東京体育館